

眼科診療 2024 業界分析レポート

THE BRIEF MARKET ANALYSIS REPORT ON OPHTHALMIC TREATMENT

MARKET
ANALYSIS

MICR



01. 生涯を通じた目の病気

- 目の健康はライフサイクルの各段階に関与しており、目の健康管理もそれなりにライフサイクルを貫いている。眼科の需要は恒常的で、ほとんどの眼病は治癒またはコントロールするために外科的治療を必要とする。
- 目の病気は多岐にわたり、年齢によって目の病気の焦点も異なる。乳児は出生時の網膜血管の発育が不完全なため、未熟児網膜症になりやすい。小児期から青年期にかけては近視のリスクが急激に高まり、遠方視力の低下などの症状が現れる。成人期には、強度近視による網膜症に注意する必要がある。
- 40歳を過ぎると糖尿病性網膜症など他の病気による眼疾患、60歳を過ぎると加齢性眼疾患、加齢黄斑変性、緑内障、白内障などが発生し、高齢者の生活に多くの不便をもたらす。

ライフサイクルにおける主な眼疾患

0歳

未熟児網膜症

網膜血管の発育が不完全な場合、一連の病変を引き起こしやすく、最終的には網膜剥離や失明に至ることもある。

3歳

小児のアレルギー性結膜炎

小児のアレルギー性結膜炎の有病率は30%と高く、アレルギーは花粉や動物の毛皮などである。

児童・青年期

近視

典型的な症状は遠方視力の低下で、多くの場合、夜間視力の低下、飛蚊症、浮遊感、光視症を伴う。

20歳以上

強度近視、網膜症

強度近視は網膜剥離、裂孔、黄斑出血を引き起こし、成人では一般的な疾患の原因である。

30歳以上

成人のアレルギー性結膜炎

世界中の成人の約10%がアレルギー性結膜炎に罹患しており、目のかゆみや充血などの症状が見られる。

40歳以上

糖尿病網膜症

糖尿病を発症してしばらくすると、糖尿病網膜症になることがある。

50歳以上

加齢黄斑変性

加齢とともに黄斑は変性しやすくなり、視力低下、視界のゆがみ、見るときの暗い影、さらには失明を引き起こす。

60歳以上

緑内障

世界で2番目に多い失明性眼疾患であり、失明率が高く、不可逆的で、見過ごされやすい。

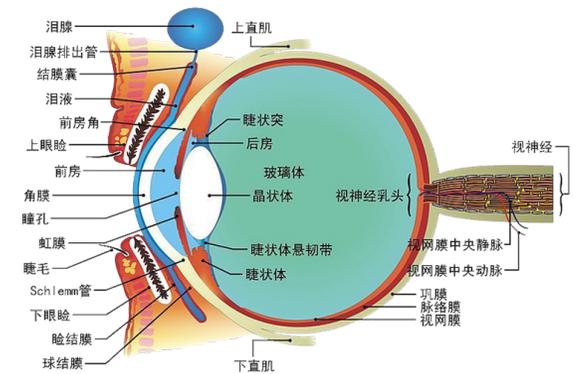
70歳以上

白内障

世界最大の失明原因である白内障は、様々な要因によって引き起こされるが、手術が唯一の治療法である。



眼球の構造



02. 中国には眼科患者が多い

- 中国の眼科患者基盤は巨大で、疾病の年齢層は広く、眼科診断・治療市場は確実に拡大し続けている。「国家視覚健康報告2021」によると、中国には6億3,000万人の近視患者がおり、国民人口の50%近くを占めているほか、2億人以上の白内障患者がいるなど、眼科疾患の患者基盤が巨大で、ドライアイ、緑内障などの眼科疾患の治療に対する需要が高い。
- 一方、眼科疾患に関わる年齢層は幅広く、屈折異常患者の年齢分布はおおよそ5歳から50歳まで、白内障は高齢者に多く、CCTVのウェブサイトの報告によると、中国の60歳以上の高齢者の白内障罹患率は80%以上である。

年齢層別眼疾患の有病率

年齢層	疾患	有病率
0-1歳	未熟児網膜症	未熟児の有病率は約7~10%
	先天性白内障	0.02%-0.05%
1-3歳	斜視	3%
	弱視	3%
4-6歳	屈折異常	—
	弱視	3%
7-18歳	近視	52.70%
20-40歳	ドライアイ	21-30%
	近視	34%
40歳以上	白内障	80%
	緑内障	2-3%
	黄斑変性	10.60%
	糖尿病網膜症	33% (糖尿病患者)

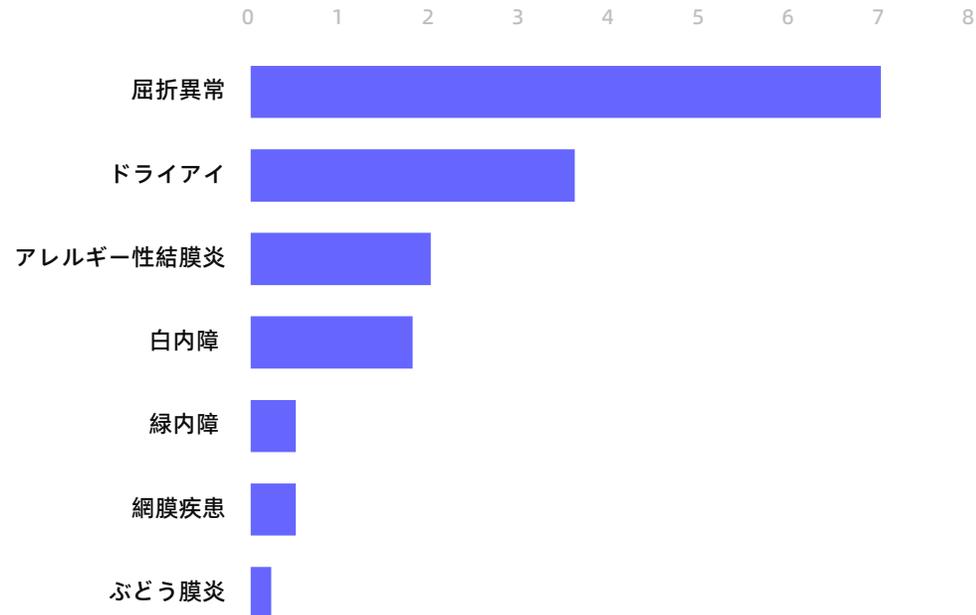
中国における眼疾患の推定患者数



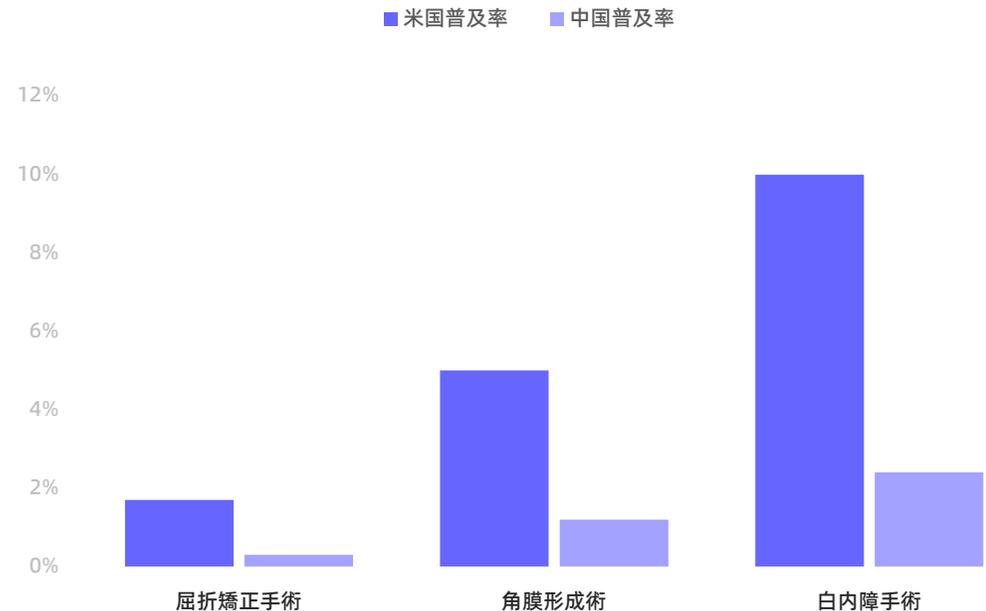
03. 中国における眼科治療の普及率が低い

- 中国では高齢化が加速し、現代的なライフスタイルが変化するにつれて、さまざまな種類の眼科疾患の患者数が増加し、治療に対する需要が増え続けている。
- 眼科疾患は高度に細分化され専門化されているが、眼科疾患に対する中国の消費者の意識と関心はまだ弱くて、屈折矯正手術、円錐角膜視力矯正、白内障手術などの普及率は米国などの先進国に比べてはるかに低い。
- 中国の眼科診断と治療サービスシステムの継続的な改善により、眼科健康知識の普及率は徐々に向上し、患者は引き続き眼科疾患の診断と治療を受け入れる意欲を強化し、各眼科の診療普及率も今後高まると予想される。

2022年における中国の各眼疾患の患者数（億人）



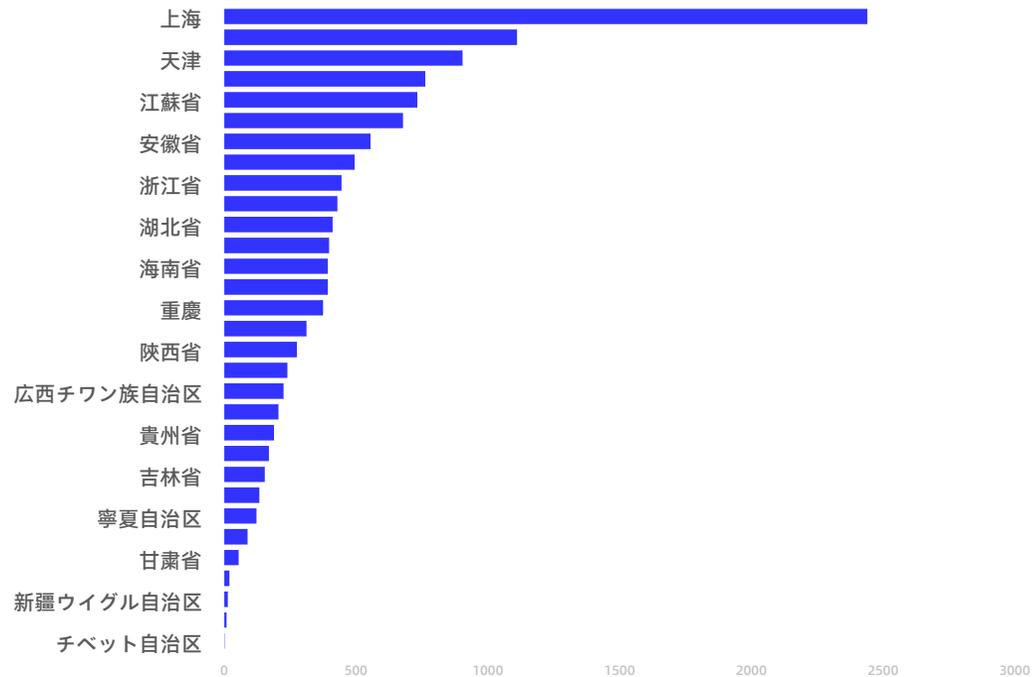
中国の眼科診療普及率は米国よりはるかに低い



04. 中国の眼科医療資源は南東部沿岸地域に集中

- 中国の眼科医療資源は著しく偏在しており、主に東南沿海地域に集中している。一方、先進地域は財政的支援が強く、病院は固定資産や医療保険決済への投資が豊富である。他方、東南沿海地域は教育資源が豊富で、人材育成に有利である。単位面積当たりの病床数で比較すると、上海、北京、天津が大きくリードしており、その他の省も急成長が見込まれている。
- ある地域における眼科病院の分布は高度に集中しており、地域差がより明確であるため、ずれ競争の状況が顕著である。アイエル眼科と普瑞眼科以外の眼科病院は、特定の地域に深く根付いて収益の大部分を生み出している。アイエル眼科は湖南・湖北で最も高い売上シェアを持ち、その事業は中国のほとんどの省に均等に分布している。

2021年中国における眼科の地方病床密度分布（1万平方キロあたりの病床数）



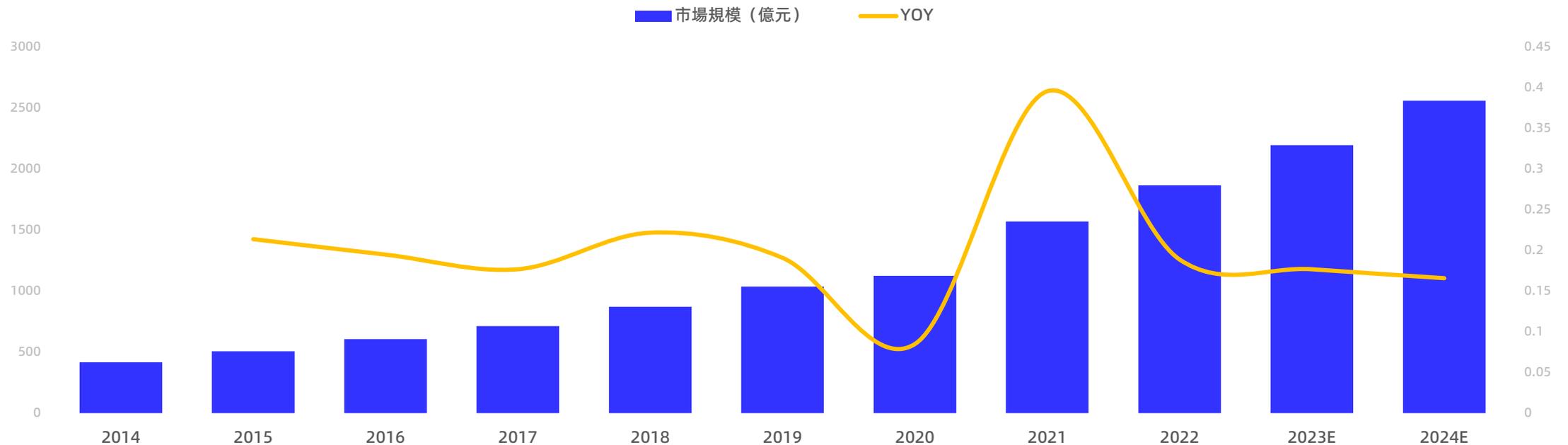
主要上場眼科病院の2021年地域別売上高比較（億元）

病院名	アイエル眼科	華厦眼科	普瑞眼科	朝聚眼科	何氏眼科	希瑪眼科
収益	150.0	29.9	17.0	7.9	9.6	9.0
華東	13.90%	71.60%	20.30%	12.60%	/	/
華南	12.40%	8.20%	/	/	/	51.1
華北	7.10%	1.30%	10.60%	87.40%	/	/
華中	31.50%	7.20%	13.60%	/	/	/
東北	7.40%	/	6.80%	/	94.10%	/
西南	13.00%	8.50%	29.80%	/	/	/
西北	3.30%	1.40%	18.50%	/	/	/
オフショア/他の地域	11.40%	1.80%	0.40%	/	5.90%	48.90%

05. 眼科サービス市場全体は広い

- 眼科医療サービスは眼や眼科疾患の予防、診断、治療のみを目的とする。中国の眼科医療サービス市場は、一般的な臨床眼疾患によって分類することができ、主に検眼、白内障、眼底疾患、屈折、眼表面疾患、緑内障、その他の眼疾患の診断と治療サービスに分けられる。
- 中国の眼科医療サービス市場規模は2015年から2019年にかけて年平均成長率19.6%で507.1億人民元から1,037.4億人民元に成長し、2025年には2,521.5億人民元に拡大すると予測されている。
- 民間の眼科医療サービス市場は公的病院よりも若干速いペースで成長しており、2020年から2025年まで20.0%の持続的成長率を維持し、公的眼科医療サービス市場との差を縮めると予想される。

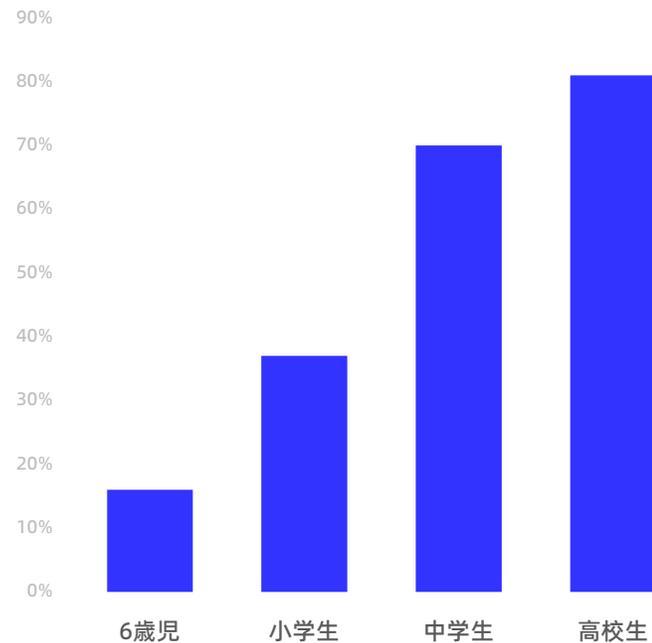
中国の眼科医療サービス市場規模（億元）



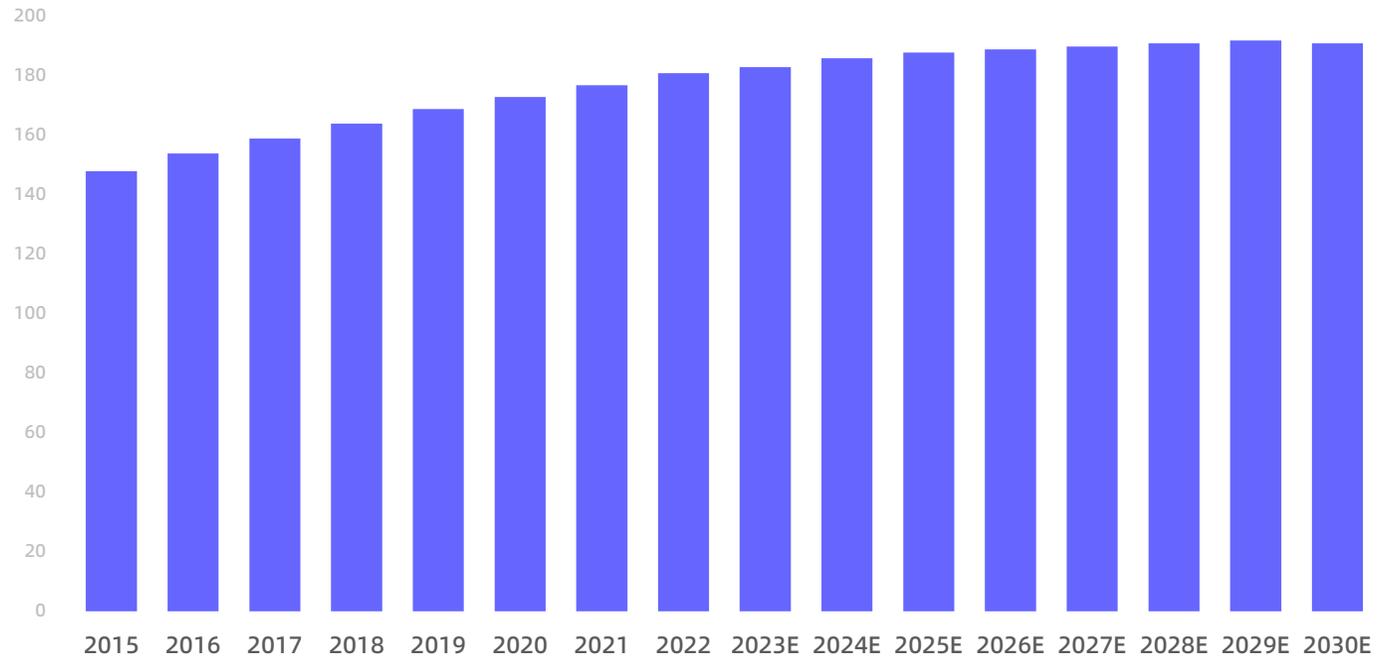
06. 若者の近視予防と治療に対する強い需要

- 中国の青少年近視の問題は深刻で、中国の青少年の近視率と近視人口は世界で最も高い。国家衛生委員会のデータによると、2022年には中国の児童・青少年全体の近視率は53.6%となり、6歳児では14.5%、小学生では36%、中学生では71.6%、高校生では81%となる。
- 学生の短時間の屋外活動、標準以下の睡眠時間、電子機器の非科学的な使用などの要因が、近視率の上昇や若年齢での近視の問題を引き起こしている。2021年までに、中国の20歳未満の近視患者数は1億8000万人に達し、近視患者総数は7億人に達する。

2022年における中国の全人口の近視率



中国における20歳未満の近視有病率（2015-2030年、百万人）



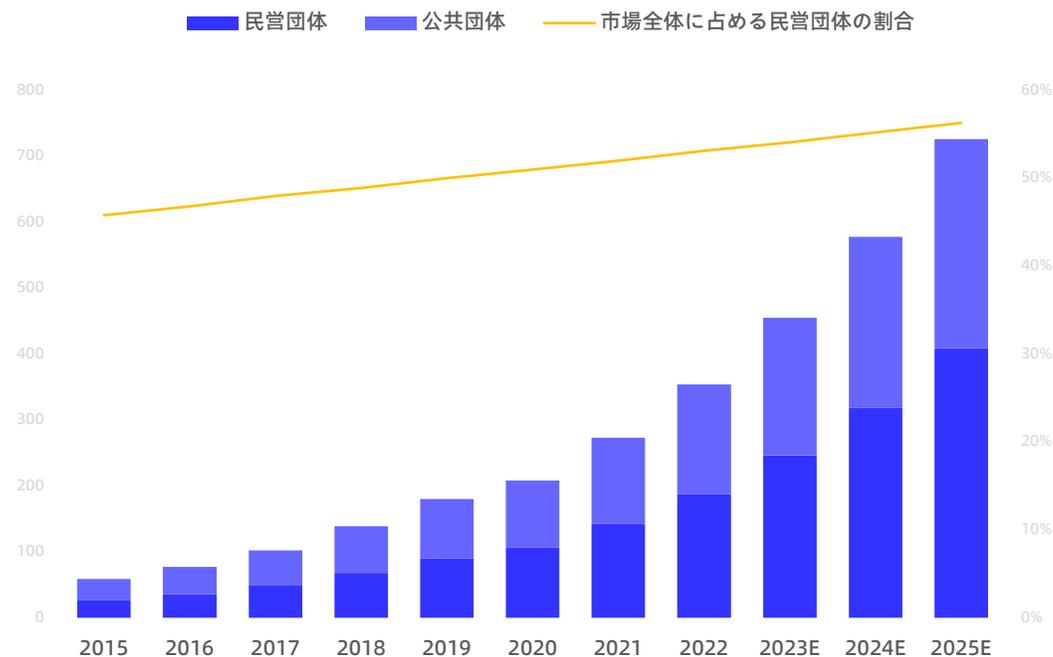
07. 屈折予防手術市場、700億元突破

- 近視には、目の酷使によって起こる屈折性近視と、屋外での活動が少なすぎるために眼軸が伸びてしまう軸性近視がある。
- 屈折異常患者の増加、人々の消費レベル、手術スタイルのアップグレードによる数量と価格の上昇により、屈折矯正手術市場規模は成長を続け、2025年には中国の屈折矯正手術市場規模は726億元に達すると予想される。
- 民間医療機関は製品、サービスの品質と価格の優位性を活用し、収益規模と市場全体の割合を高め続けており、2021年に52.0%の眼科民間病院屈折矯正手術の市場シェアは、2025年には56.3%に増加する。

屈折予防と矯正法の比較

矯正の種類	該当人口	メリット	デメリット
メガネフレーム	無制限	便利、経済的、安全	不慣れた動き、人によっては受け入れられない外観
ソフトコンタクトレンズ	屈折異常の矯正、成人用	美観に優れ、適応しやすく、着用後の運動が便利	長時間の装着は、重篤な低酸素反応や巨大乳頭結膜炎を引き起こす可能性がある
ハードコンタクトレンズ	強度近視、強度遠視、強度乱視、不正乱視	良好な通気性、高画質	使用当初は強い異物感があり、適応に時間がかかる。急性角結膜炎、重度のドライアイなど目の疾患がある方、風の強い場所、砂の多い場所、汚染度の高い場所、化学物質の多い場所に長時間いる方には適さない
角膜矯正用コンタクトレンズ	年齢8歳以上、角膜曲率40.00~46.00D	夜間に使用するため、日中にフレームや角膜コンタクトレンズを掛ける必要がない。近視の進行を35~60%遅らせる効果がある	価格が高い、介護の必要性が高い、不適切な使用による合併症のリスクがある。活動性角膜炎、角膜知覚低下などの眼疾患のある患者には適さない
低濃度アトロピン	年齢や近視による制限はなく、近視が0.75D/年以上増加している12歳までの小児および青少年に薦め	就寝前に毎晩1回使用する、操作が簡単、低価格	6~12歳の小児および青年において、低濃度アトロピン点眼薬単独で眼軸の成長をコントロールする根拠は不明

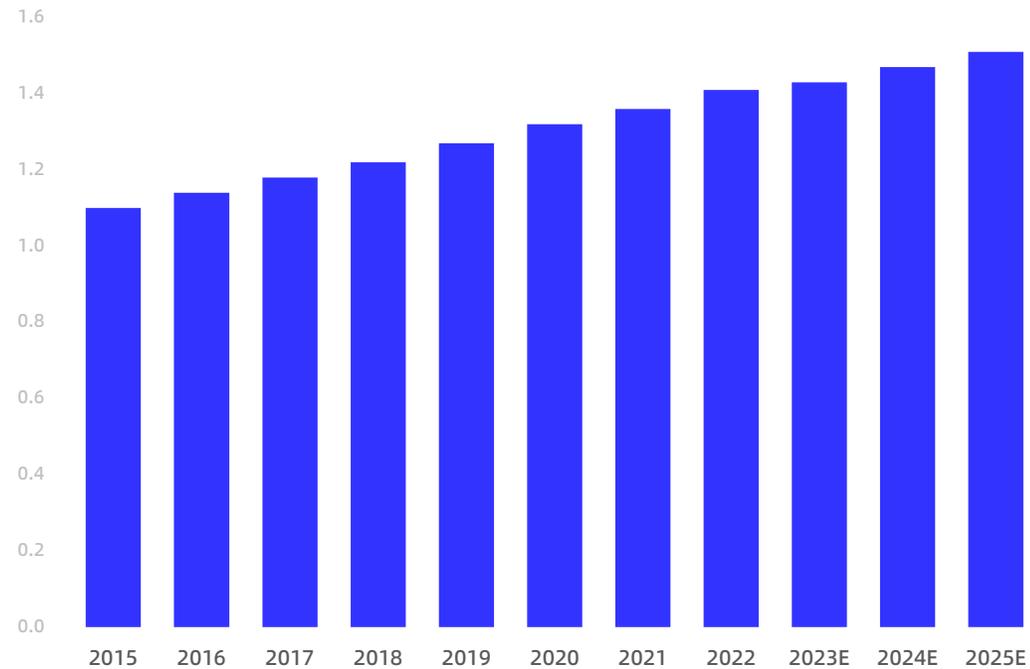
2015-2025E 中国の屈折矯正手術市場規模(億元)



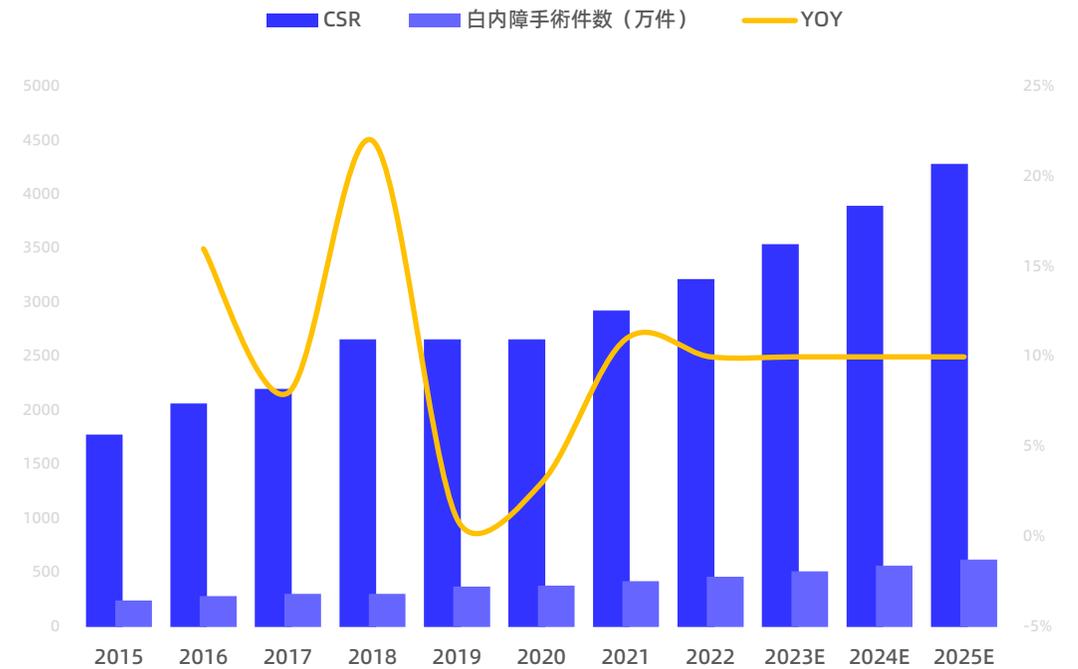
08. 白内障の有病率は高齢化とともに増加し続ける

- 白内障は、水晶体の透明度の低下や変色によって引き起こされる光学的品質の変性変化である。加齢に伴い、白内障の有病率は著しく増加し、中国医師会眼科分会の統計によると、中国の60歳から89歳の人口における白内障の発生率は80%であり、90歳の人口における白内障の発生率は90%以上に達する。
- 白内障手術の普及率は海外と比較するとまだまだ改善の余地があり、手術件数は順調に伸びていくと予想される。中国の高齢者人口の増加と罹患率の若干の上昇により、2025年には中国の白内障患者数は1億5,100万人を超えると予想される。

中国の白内障患者数の変化（億人）



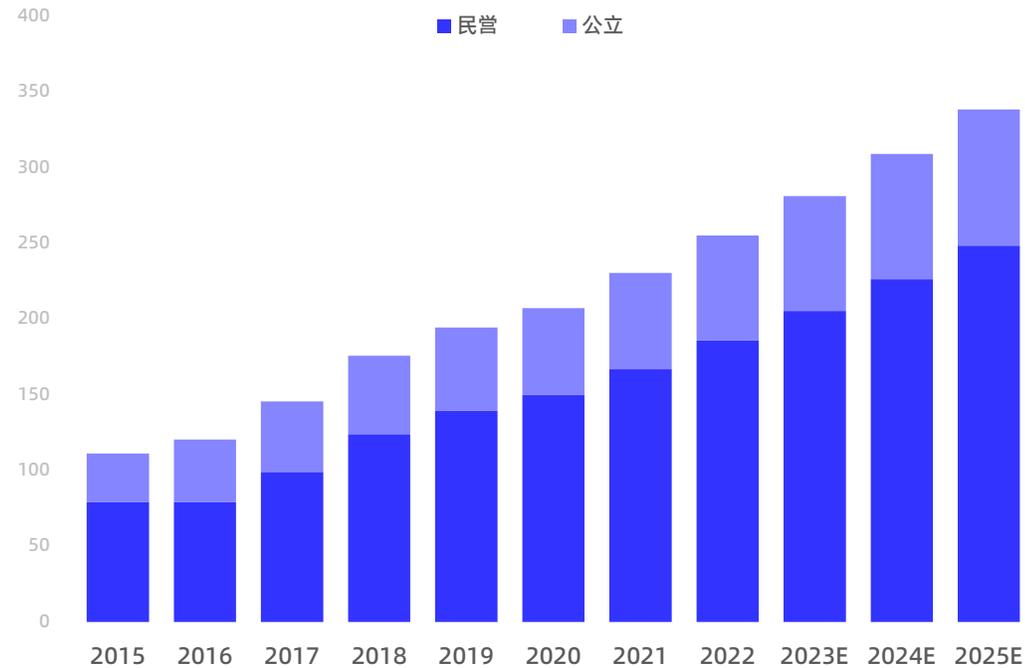
中国の白内障手術件数とCSR（件数／百万人）



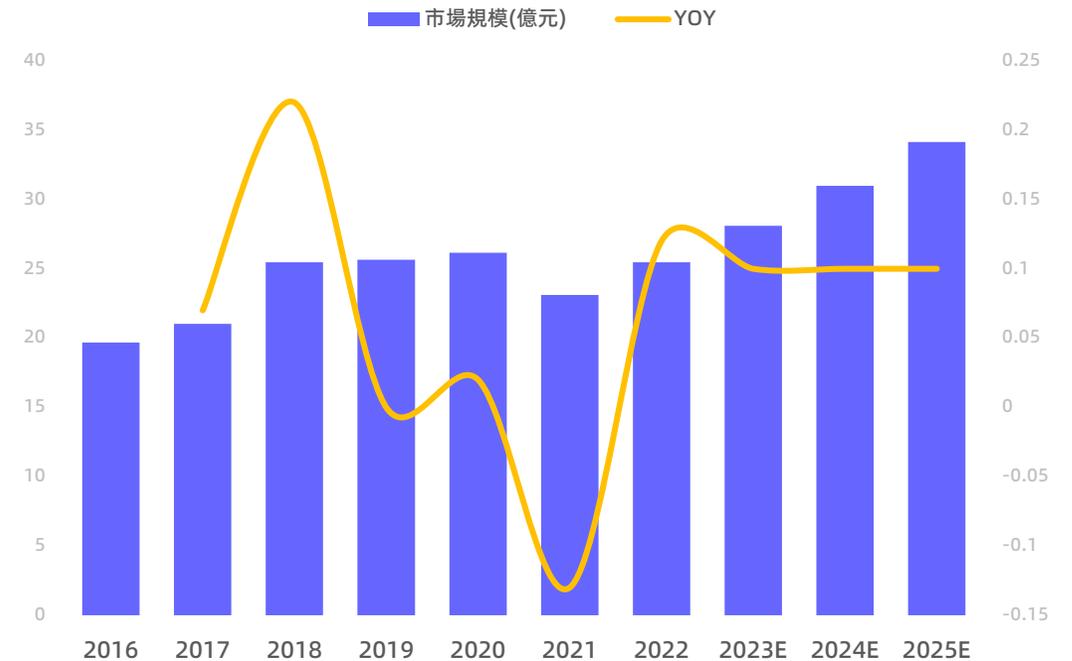
09. 眼内レンズは白内障の効果的な治療法

- 眼内レンズは、主に白内障手術において、患者の自然な水晶体の代わりに使用される医療機器で、光の焦点を再び適切に合わせることによって患者の視力を改善する。
- 白内障手術は、すでに濁った水晶体を取り除いた後に眼内レンズを挿入するもので、一般的に使用され、費用対効果の高い手術と考えられている。
- 中国の白内障手術市場規模は比較的横ばいで成長しており、2015年の111.4億元から2019年には194.5億元に拡大し、2025年には市場規模はさらに338.5億元まで拡大し、民間眼科の白内障手術市場シェアは70%を超えると予想されている。

中国の白内障手術市場規模（億元）



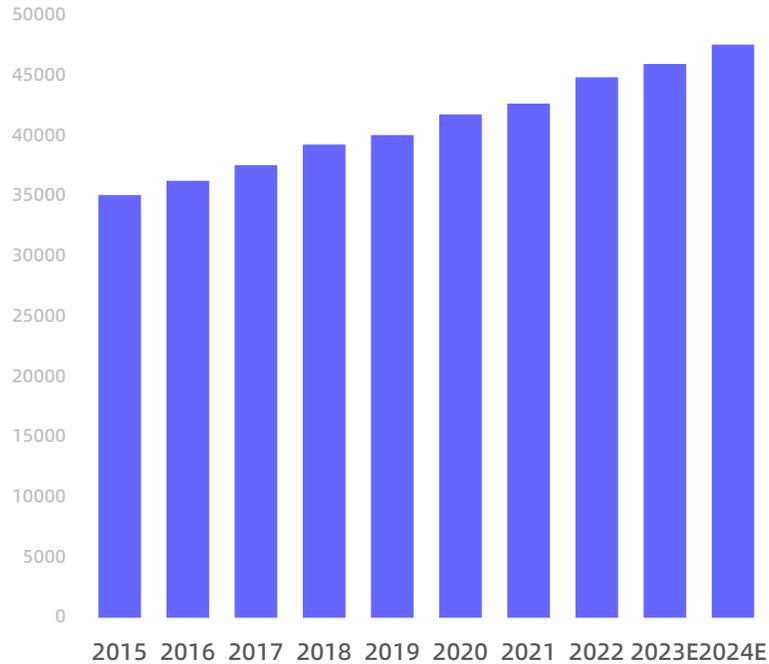
2016-2025E 中国の眼内レンズ市場規模(億元)



10. 眼科業界の新たな成長分野としての老眼

- 老眼（霞目とも言う）は、加齢に伴い、人間の目の水晶体が徐々に硬化し、弾力性が低下し、毛様体筋の機能が徐々に低下することに重なり、目の調節機能が徐々に低下することを指す。
- 老眼は通常38歳前後で現れ、42～44歳がピークで、52歳以上の老眼有病率は100%に近い。一般的に、老眼は35～45歳、早期老眼は45～52歳、後期老眼は52歳以上と定義されている。
- 2023年、中国の45歳以上の老眼患者は4億6,100万人となり、2022年と比べて約1億5,000万人増加し、巨大な潜在市場規模となる。中国で最も一般的な老眼矯正方法は医療検眼（主に老眼矯正）である。最も一般的な外科的矯正法は水晶体置換手術である。角膜レーザー手術は普及の初期段階にある。その他の矯正方法はほとんど使われていない。

中国の老眼人口（45歳以上、万人）



異なる老眼矯正法の比較

矯正法	さらなる分類	該当人口	主なメリット	主なデメリット
検眼による度付きメガネ	メガネフレーム	全患者	安全、入手が容易、安価、度数調整が容易	視野が狭い、対象物の大きさにばらつきがある、頻繁に取り外す
	角膜コンタクトレンズ	一部の眼病患者には適さない	頻繁に取り外す必要がなく、画像サイズの変化を起こさず、度数調整が容易	頻繁なケアと衛生管理が必要なため、角膜損傷や感染のリスクがある
外科矯正	角膜手術	初期の老眼（水晶体がまだ濁っていない）の患者。強度の近視や角膜が薄くなっている患者を除く	手術時間が短く、回復が早い	角膜損傷や感染のリスクがある
	水晶体手術	早期老眼患者に眼内レンズ挿入術、白内障患者にRLEは可能	外科的可逆性	術後度数が変わる可能性があり、レンズの種類によっては眼全体への負担が大きい、眼内炎のリスク
	強膜手術	初期の老眼	部分的な調整能力は回復できる	手術まだ成熟していない
投薬		薬剤禁忌のない患者	入手が容易で安価	副作用の頻度が高く、薬剤の使用方法についてさらなる検証が必要

11. ドライアイが眼科業界の新たなブルーオーシャンになる可

- ドライアイは非常に重要な眼表面疾患であり、その主な病因は、涙腺からの房水層の分泌不足、脂質層の分泌不足、ムチン層の分泌不足、涙の蒸発過多、涙液膜の不均一な分布であり、主な原因因子は、眼の酷使や眼習慣の悪化、眼瞼乳頭腺の機能低下、ビタミンA/Ω-3脂肪酸の欠乏である。
- 疫学調査によると、世界の全年齢層の約35%がドライアイに罹患しており、中国のドライアイ有病率は21～30%と高い。2020年の中国のドライアイ患者数は2億2,000万人で、およそ5人に1人の割合となり、診断率は2020年に急上昇し、2023年の患者数は2億3,900万人に達すると予測されている。

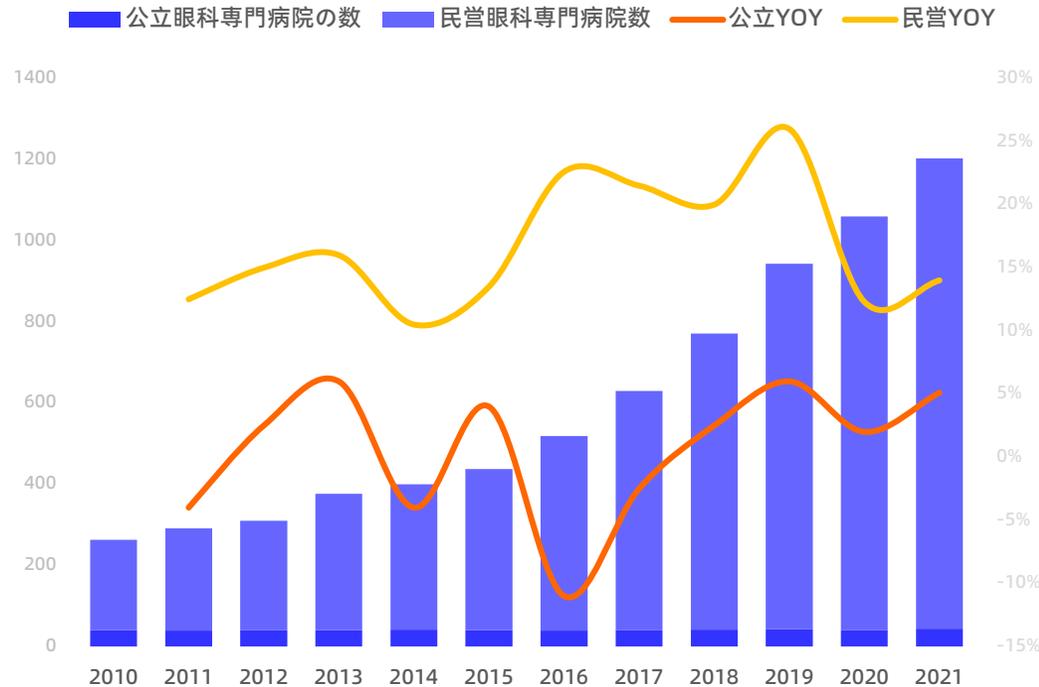
主な眼疾患の種類とそれに対応する治療法の概要

分類	病因	薬物療法	物理的治療と外科的治療
涙液減少型	涙液の分泌不全と質感異常（糖尿病、全身性エリテマトーデス、関節リウマチなどの全身疾患が引き金）	人工涙液、局所涙液促進剤、局所グルココルチコイドまたは免疫抑制剤	涙道閉塞症、moisture chamber spectacles（水分室メガネ）、外科的治療
蒸発亢進型	脂質層の質と量の異常（マイボーム腺機能障害による涙の過剰蒸発）	人工涙液、局所用涙液促進剤、局所用ダニ除去剤、抗菌剤、グルココルチコイドまたは免疫抑制剤	moisture chamber spectacles（水分室メガネ）、まぶたの治療には、理学療法、強力パルス光治療、温熱療法が含まれる
BUT短縮型	眼表面上皮の損傷（化学眼外傷、眼表面薬物中毒傷害、熱傷および角膜縁機能障害、長期コンタクトレンズ装用およびその他の誘因）	人工涙液、局所涙液促進剤、局所グルココルチコイドまたは免疫抑制剤	涙道閉塞症、moisture chamber spectacles（水分室メガネ）、治療用角膜コンタクトレンズ
abnormal tear dynamics	涙の動態異常（一過性の異常視力、涙の排出異常、結膜弛緩症、眼瞼異常などの誘因）	人工涙液、局所グルココルチコイド、免疫抑制剤	治療用角膜コンタクトレンズ、外科的治療
混合型	上記が同時に複数回発生した場合		

12. 眼科医療サービスが眼科病院の増加を牽引

- 近年の中国における眼科医療サービスの需要増加に伴い、中国の眼科病院数は増加し続けている。2010年から2021年にかけて、中国の眼科病院数は263から1,203軒に増加し、年平均成長率は約14.8%であった。
- 現在、中国における眼科医療サービスの供給は比較的不十分であり、まだまだ改善の余地がある。フロスト&サリバンのデータによると、中国の人口100万人当たりの眼科医数はわずか32.5人、人口100万人当たりの眼科病院数はわずか0.7軒で、米国や日本などの先進国に比べてはるかに少なく、より大きな成長の可能性を秘めている。

中国における眼科専門病院が急増



眼科医薬品産業の発展を奨励する中国の主要政策

政策の名	発表年	主な内容
「第13次5カ年計画における国家眼保健計画（2016年～2020年）」	2016	眼科医療サービスの対象範囲、利用しやすさ、公平性、有効性を改善するため、より積極的な対策を講じる
「医療消毒および供給センターを含む3種類の医療機関の基本基準と管理規範の発布に関する衛生委員会の通達」	2018	あらゆるレベルの衛生委員会は眼科病院の連鎖とグループ化を奨励すべきである。眼科病院は地域の他の総合病院と協力関係を築き、診療転移のルートを円滑にし、技術協力を強化すべきである。
「社会的医療サービスの継続的な健全かつ標準化された発展を促進するための意見の発表に関する通達」	2019	社会の力を、チェーン化したリハビリテーション医療センター、健康診断センター、眼科病院、その他の機関を組織するよう指導する。
「子供と青少年の近視予防と抑制のためのブライト・アクション・プログラム（2021-2025年）」	2021	児童・青少年の近視予防と管理のためのブライト・アクション・プログラムを実行し、児童・青少年の近視予防と管理システムを改善・完成させ、2025年までに児童・青少年の近視率を継続的に減少させる。
「第14次5カ年計画の国家眼保健計画（2021-2025年）」	2022	党中央委員会と國務院は眼科衛生業務を非常に重視しており、眼科衛生管理システム、技術指導システム、医療サービスシステムを改善し続け、眼科疾患の予防と治療のための適切な技術と治療方式を推進し、眼科医療品質管理システムを改善し続け、眼科における良質な医療資源の拡大を推進している。

13. 眼科産業が直面する4つの課題

01 国民の眼科医療に対する認識の偏り

国民の眼科医療に対する認識の偏りも需要の掘り起こしをある程度制限しており、中国人の眼科に対する知識不足や侵襲的な手術に対する恐怖心はまだ十分に払拭されていない。

03 眼科医療資源の偏在

中国の眼科医療資源は偏在しており、東南海岸沿いの経済発展した省に眼科医療資源が集中しており、東部地域の眼科病床密度は中部・西部地域よりも著しく高く、草の根レベルの眼科医療資源が相対的に不足しているため、患者は医療を受けることが困難である。

02 需要に追いつかない眼科サービス

携帯電話やパソコンなどの電子機器の長時間使用や食生活の乱れなど、生活習慣の変化により眼科疾患の患者数は年々増加し、眼科医療を圧迫している。

04 眼科医療の競争は厳しくなっている

眼科医療は、基礎的な基礎的眼疾や眼内治療などのビジネスと比較すると敷居が比較的 low、一方で利益率は高く、業界の垣根もさほど高くないため、競合他社が群がっている。

14. 眼科企業が注目する4つのトレンド

中国における眼科医療の需要は成長を続けている

高齢化が進み、若年層や中年層が目を使いすぎることによって、小児眼病や斜視、ドライアイ、円錐角膜など、さまざまな眼病が広がっている。加えて、緑内障と網膜硝子体症は、治療の難しさ、視力の予後の悪さ、不可逆的な失明などの理由から優先的に注目されており、これらの疾患の発見率が徐々に上昇するに伴い、眼科疾患の診断と治療に対する需要が中国で増加し続けている。

01

眼病患者のニーズは治療から予防へとシフト

世界保健機関（WHO）は、予防、早期発見、治療、リハビリテーション・サービスを通じて、より多くの人々の眼科医療ニーズが満たされるよう、国民保健サービスにおける眼科医療のさらなる必要性を提唱している。国家近視予防・管理戦略の進展に伴い、親や個々の青少年は目の健康をより重視するようになり、眼病患者のニーズは治療から予防へと徐々にシフトし、検眼医療サービスの普及率も高まっている。

02

中・高級眼科手術の割合の漸増

眼科診断と治療技術の絶え間ない発展、材料の絶え間ない反復とアップグレード、高品質の視覚に対する住民の絶え間ない需要の増加により、眼科医療業界は消費のアップグレード傾向を示しており、中・高級手術における屈折矯正手術、白内障手術、その他の眼科手術の割合は増加し続けており、事業構造と収益性の絶え間ない最適化を推進している。

03

人工レンズの未来を担う多焦点レンズ

初期の段階では、眼内レンズは主に単焦点で、患者の遠方視力のニーズを主に解決していた。多焦点眼内レンズは、遠方視力、中間視力、近方視力のニーズを同時に満たし、術後の水晶体除去を実現できるが、患者の眼の状態や医師の手術精度に対する要求が高く、術後の神経学的適応期間や光学的干渉が長くなる可能性があり、さらに、高級な多焦点レンズを使用するため、追加の医療費が必要になる。

04

著作権表示

本レポートは、上海嘉世营销咨询有限公司(MCR)の完全なレポートから抜粋したショート・バージョンです。
詳細な内容については、mcr@chinamcr.comまでお問い合わせください。

本レポートにおけるすべての内容（文字記事、写真、映像、イラスト、図表等の資料を含むがこれらに限定されない）は、『中華人民共和国著作権法』、『中華人民共和国著作権法実施規則』および万国著作権条約により保護されています。

本レポートの著作権は、MCRに帰属しており、転送、転載、引用が必要な場合は、出典を明記しなければならず、内容に関してはいかなる変更も行ってはなりません。

本レポートは無料であり、いかなる組織または個人も、課金を目的として営業活動に使用してはなりません。

